

✦✦✦概要版✦✦✦

いきるサポートプラン

～第2期太宰府市自殺対策計画～

令和6年度～令和11年度



令和6年3月
太宰府市

✧✧✧計画策定にあたって✧✧✧

○計画策定の趣旨

平成18年に「自殺対策基本法」が制定されて以降、自殺は「個人の問題」ではなく「社会全体の問題」であることが認識され、総合的に自殺対策が推進されたことにより、わが国の自殺者数は3万人台から2万人台へと減少しました。

国は「自殺総合対策大綱」の見直しを行い、令和4年10月に閣議決定しました。同大綱では、【誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す】という基本理念の下、社会における「生きることの阻害要因」を減らし、「生きることの促進要因」を増やすことを通して、社会全体の自殺リスクを低下させることを目的としています。この目的を達成するための具体策として、地域レベルの実践的な取り組みへの支援の強化、自殺対策に関わる人材の確保・養成・資質の向上を図る取組や、心の健康を支援する環境の整備等、13の重点施策を掲げています。

本市では、平成31年に5年間の計画として「太宰府市自殺対策計画」を策定し、「5つの基本施策」と「3つの重点施策」を中心に、相談窓口やリーフレット掲載等の普及啓発事業や、ゲートキーパー養成講座による人材の育成などを市全体で取り組んできました。その結果、平成25年以降、自殺者数は減少傾向にありましたが、令和3年以降は再び増加へ転じています。

このような中、これまでの取り組みを基本に、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により顕在化した社会的・心理的課題を解決するため「人」と対策をつなぐ取り組みを推進するため「いきるサポートプラン～第2期太宰府市自殺対策計画～」(以下、「本計画」という)を策定しました。

○計画の位置づけ

自殺対策基本法に基づき、同法および国の定める自殺総合対策大綱の主旨を踏まえて、同法第13条第2項に定める「市町村自殺対策計画」として制定するものです。

○SDGsとの関係

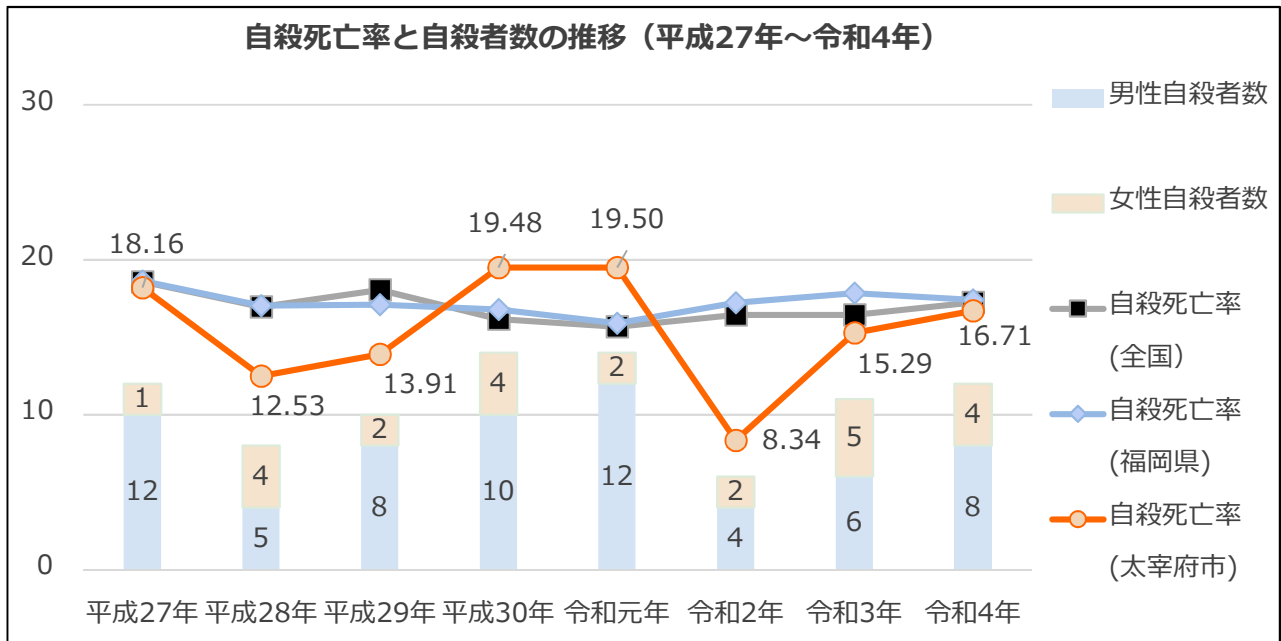
本計画においては、SDGs17の目標のうち、「1 貧困をなくそう」、「3 すべての人に健康と福祉を」、「4 質の高い教育をみんなに」、「5 ジェンダー平等を実現しよう」、「10 人や国の不平等をなくそう」、「11 住み続けられるまちづくりを」の6つの目標を達成する施策の検討や具体的な取り組みを進めていきます。

○計画の期間

令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

❖❖❖太宰府市における自殺の現状❖❖❖

図表 1



- (1) 全国や福岡県と比べ、自殺死亡率は低めであるが年毎の増減差があり、令和3年度以降は再び増加に転じている。

自殺死亡率は、全国や福岡県と比べてやや低い水準です。年毎の増減差があります。

- (2) 若年層や女性の自殺死亡率が増加傾向にある。

平成30年～令和4年の年齢階級別の平均自殺死亡率は、男性が80歳以上56.2、50歳代38.7、20歳代32.1と多く、特に80歳以上・20歳代は全国・県と比較して高い水準です。女性については30歳代19.4と最も多く、次いで70歳代16.4、80歳以上16.3が全国・県より高い水準です。

- (3) 過去7年間の自殺者のうち、60歳以上の割合が高い。

過去7年間の自殺者（77人）のうち、60歳以上の自殺者数は26人で、全体の約33.8%となっています。

- (4) 自殺の要因で「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」「家庭問題」が多くなっている。

過去3年間の自殺者（29人）の原因・動機別割合は、「健康問題」を理由とする自殺が51.4%と約半数で最も多く、次いで「経済・生活問題」「家庭問題」の順になっています。

- (5) 自殺企図や希死念慮等リスクのある者のうち、約65%は女性である。

性・年代別のリスク者のうち、女性は89人で全体の約65%となっています。

✧✧✧自殺対策に関する調査結果（太宰府市民アンケート調査）✧✧✧

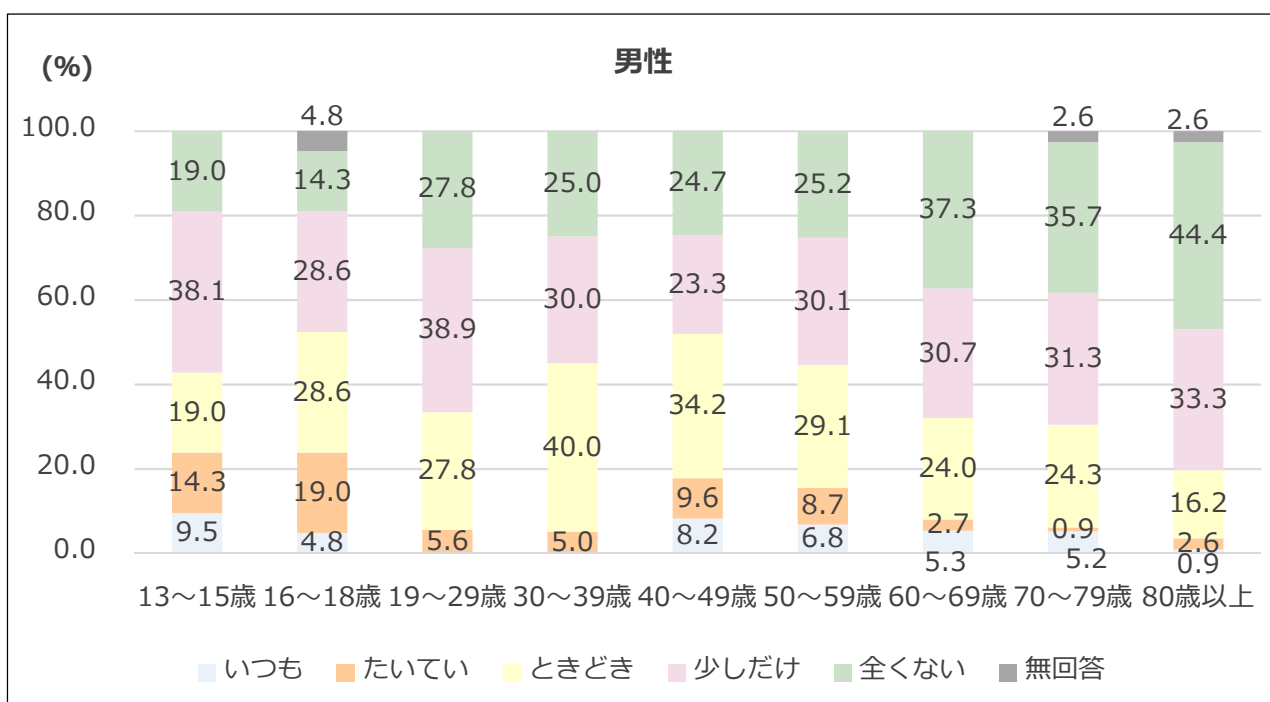
設問 1

あなたはここ1カ月間、どれくらいの頻度で「ゆううつ」に感じることがありましたか？

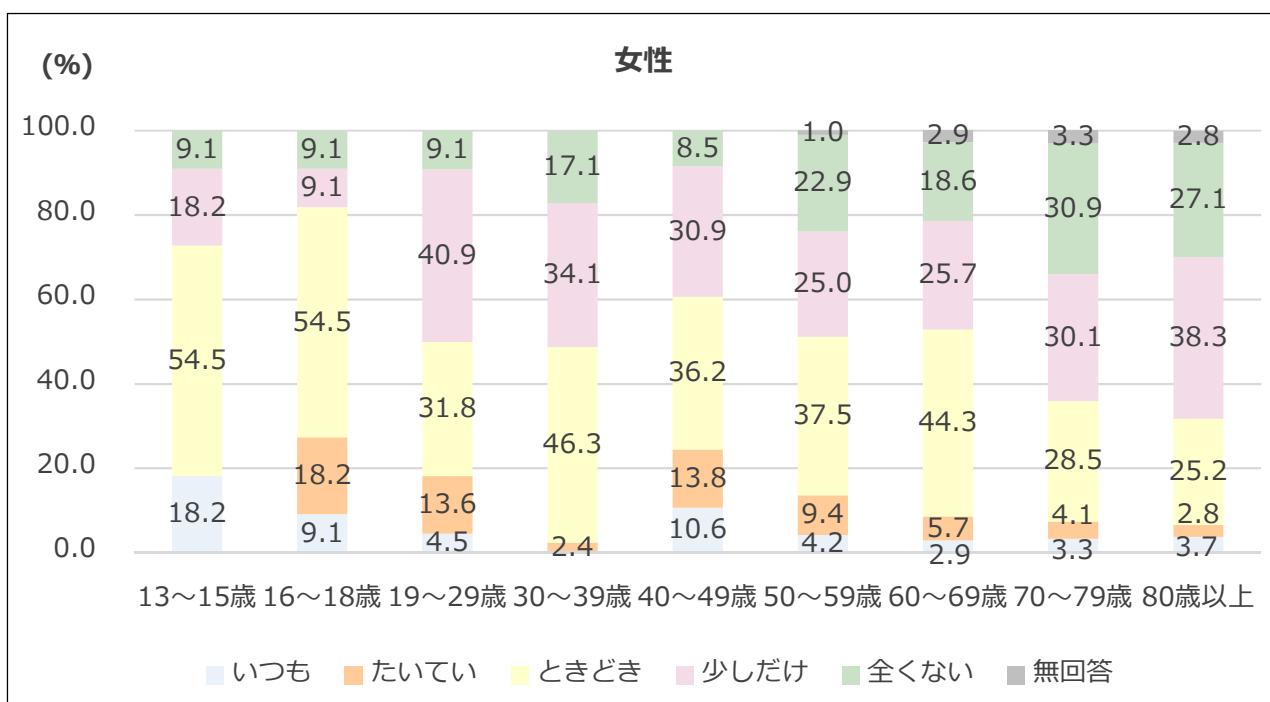
ゆううつに感じる頻度は、「ときどき」「少しだけ」が男女とも多い傾向です。

「いつもゆううつに感じる」割合は、男女ともに13～18歳が最も高く、次いで40～49歳となっています。

図表 2



図表 3



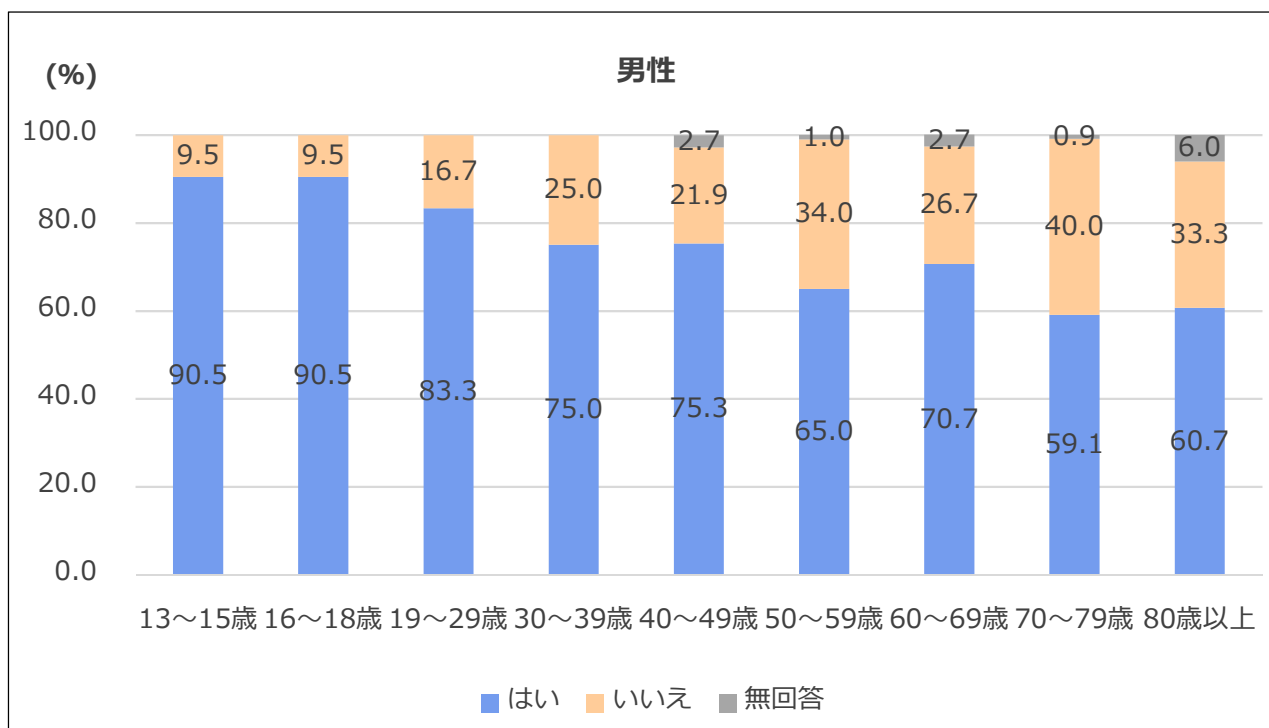
設問 2

あなたの近くに不安や悩みを相談できる人はいますか。

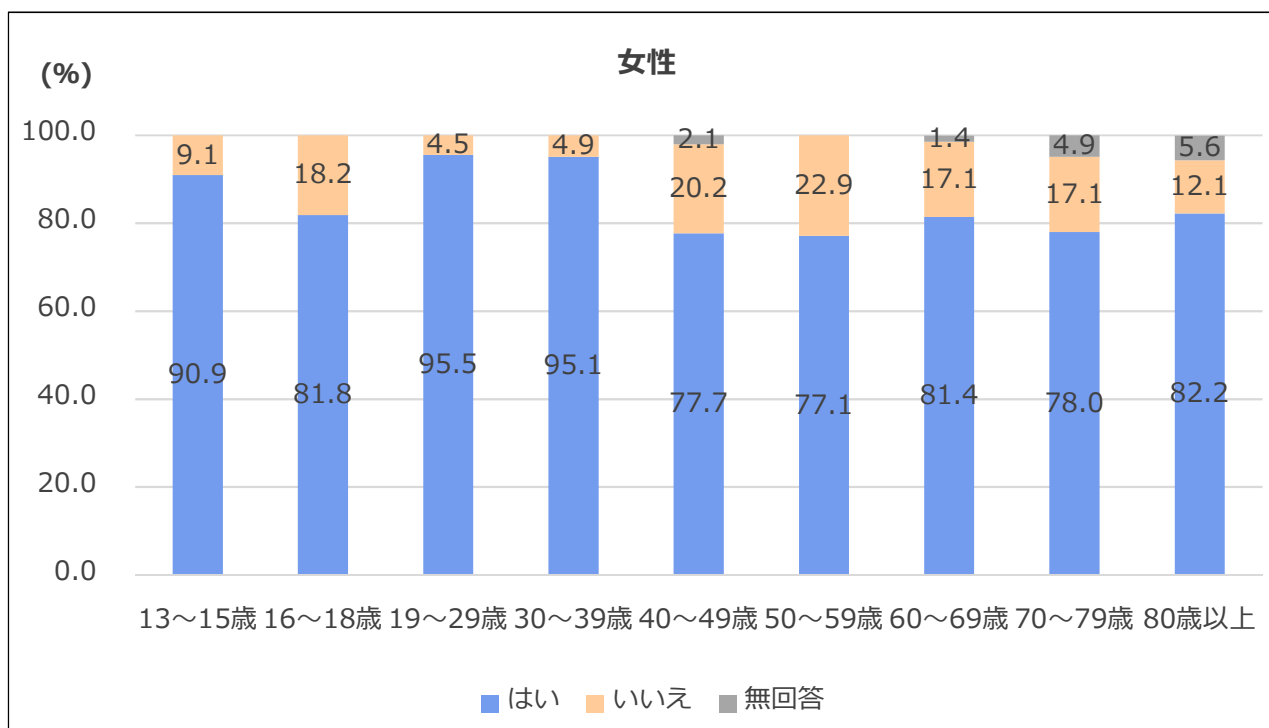
相談できる人が「いる」は、全体で74.7%となっています。

近くに不安や悩みを相談できる人が「いる」割合は、男性では13～18歳が90.5%と最も高く、70～79歳は59.1%と低くなっています。女性では19～29歳が95.5%と最も高く、50～59歳は77.1%と低くなっています。

図表 4



図表 5



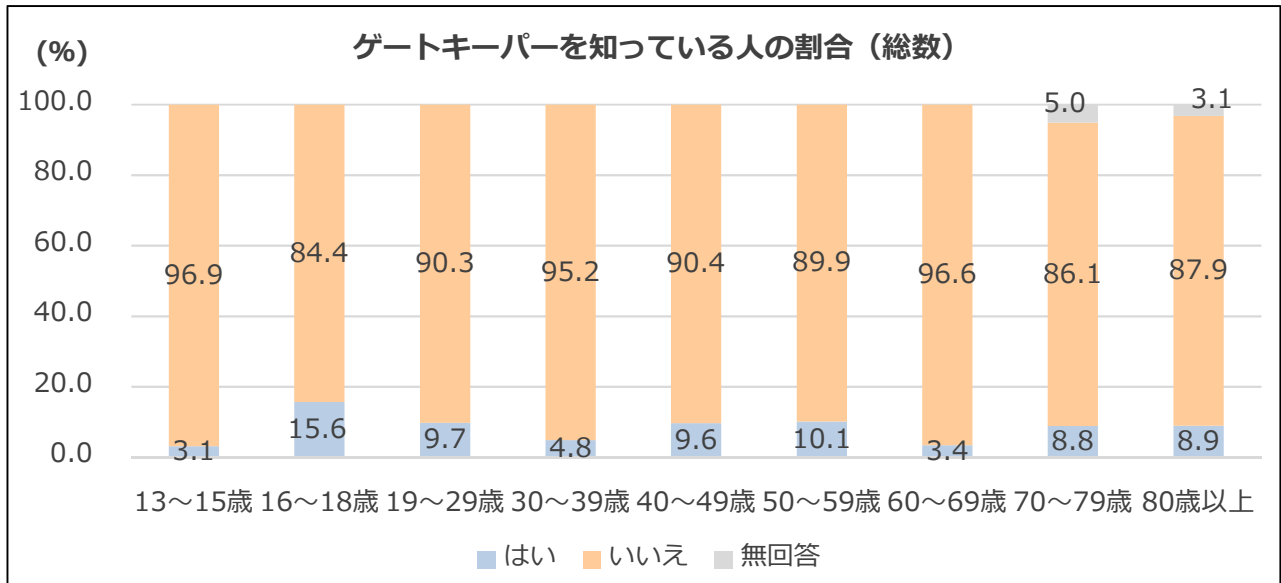
設問 3

あなたは「ゲートキーパー」の内容を知っていますか。

ゲートキーパーを知っている人は、全体の約8.4%です。

ゲートキーパーの内容を知っている人は、男性では8.5%、女性では8.2%で、約1割程度でした。

図表 6



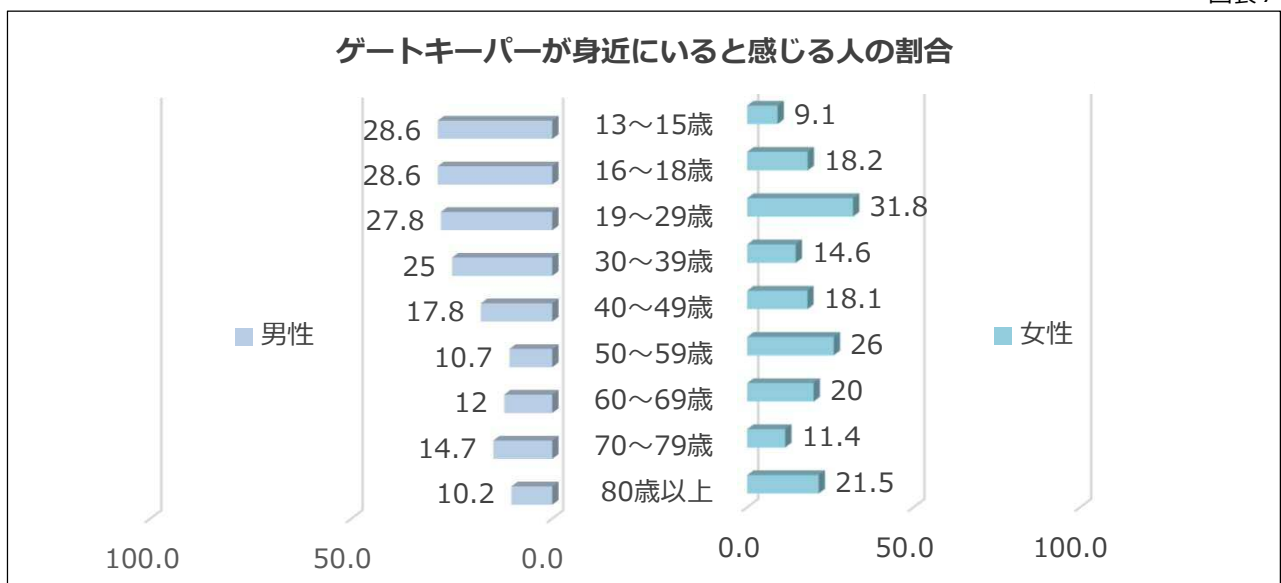
設問 4

あなたのまわりに「ゲートキーパー」だと感じる人はいますか？

ゲートキーパーだと身近に感じる人がいるのは、男女とも19～29歳に多い傾向です。

ゲートキーパーが身近にいると感じる人の割合は、男性では13～18歳が最も多く、次いで19～29歳です。50歳以降は10歳代のおよそ半数でした。女性では、19～29歳が最も多く、次いで50～59歳、80歳以上の順です。

図表 7



✧✧✧現状から見た課題✧✧✧

自殺死亡率、自殺企図や希死念慮等リスク者などを性別や年代別に分析を行った結果、以下の課題が見えてきました。

- ◎全国の年代別の主な死亡原因の順位と同様に、本市においても男女ともに若年層の自殺死亡率が増加しています。
- ◎30歳以下のリスク者は、全体の4割以上を占め、そのうち7割以上が女性です。
- ◎本市の特徴として、70歳以上の女性の平均自殺死亡率は、全国・福岡県と比較すると高い水準にあります。

✧✧✧計画の数値目標✧✧✧

国は、令和4年10月に閣議決定した「自殺総合対策大綱～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～」において、令和8年までに自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）を「平成27年と比較し30%以上の減少」「自殺死亡率を13.0以下」を前大綱から継続して目標としています。

この国の目標を踏まえ、本市では平成27年の年間自殺死亡率19.1を令和10年までに15.4とすることを目指します。

	現状 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)
自殺死亡率	16.7	15.4
相談できる相手が いる割合※1	男性：67.9% 女性：81.7%	男性：74.6%以上 女性：85.7%以上
ゲートキーパーの 認知度※2	8.4%	15%以上

※1、2 市民アンケート調査より

✧✧✧太宰府市における自殺対策における取り組み✧✧✧

基本施策

施策項目

全国的に共通して取り組むべき施策とされています

1 ネットワークの強化

自殺対策を推進するための基盤となる取り組みです。

- (1)庁内における連携・ネットワークの強化
- (2)地域における連携・ネットワークの強化
- (3)特定の問題に対する連携・ネットワークの強化

2 自殺対策を支える人材の育成

悩みを抱える人への早期の「気づき」ができる人材育成に努めます。

- (1)市職員を対象とする研修
- (2)市民を対象とする研修
- (3)自殺対策を支える者への心のケアへの推進

3 市民への啓発と周知

相談窓口に関する情報発信や、誰かに助けを求めることが社会全体の共通認識となるよう普及啓発するとともに、自殺に対する誤った認識や偏見を払拭する啓発活動に取り組みます。

- (1)リーフレット・啓発グッズ等の作成と活用
- (2)市民向け講演会・イベントなどの開催

主な取り組み事業

目標

		現状値	目標値
(1)庁内における連携・ネットワークの強化 1 太宰府市自殺対策連絡会議 (2)地域における連携・ネットワークの強化 2 太宰府市健康づくり推進協議会 (3)特定の問題に対する連携・ネットワークの強化 3 要保護児童対策地域協議会	太宰府市自殺対策連絡会議の開催	開催なし	毎年1回
(1)市職員を対象とする研修 1 職員同和問題研修 2 男女共同参画職員研修 3 市職員向けゲートキーパー研修	職員同和問題研修の参加率（職員対象）	78.3%	97.0%
(2)市民を対象とする研修 1 市民向けゲートキーパー研修	ゲートキーパー研修の参加者数	65人	80人
(3)自殺対策を支える者への心のケアへの推進 1 市職員の健康相談			
(1)リーフレット・啓発グッズ等の作成と活用 1 こころの健康・自殺予防に関する相談窓口の周知 2 自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発活動の推進 3 人権問題の啓発	おももりを配布する市内中学校の割合	令和6年度開始予定	80%
(2)市民向け講演会・イベントなどの開催 1 精神保健福祉講演会 2 人権講座ひまわり 3 男女共同参画市民フォーラム 4 同和問題啓発強調月間	精神保健福祉講演会の参加人数	91人	100人
	同和問題啓発強調月間市民講演会の参加人数	181人	450人

4 生きることの促進要因への支援

「生きることの阻害要因」を減らす取り組みに加え、「生きることの促進要因」を増やす取り組みを行い、悩みを抱える人への支援や居場所づくり、就労支援等の充実を図ります。

- (1)居場所づくり（全市民対象）
- (2)①相談体制の充実・相談窓口情報の発信（妊産婦・子育て中の保護者）
②相談体制の充実・相談窓口情報の発信（すべての市民）
③相談体制の充実・相談窓口情報の発信（自殺未遂者、遺された方）
- (3)支援の充実
- (4)妊娠・出産・子育てに対する支援の充実

5 児童・生徒のSOSを出せる力を育てる教育

児童・生徒が困難や問題に適切な援助希求行動ができるように、SOSの出し方に関する教育を推進するとともに、身近にいる大人が子どものSOSに早期に気付く関係者のネットワークにより早期支援ができる体制を構築します。

- (1)児童・生徒のSOSの出せる力を育てる教育
- (2)児童・生徒のSOSに気づく体制づくり
- (3)SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化

主な取り組み事業

目標

		現状値	目標値
(1)居場所づくり 1 専門職による相談事業 2 太宰府市NPO・ボランティア支援センター「うめさろん」事業 3 子育て広場・子育てサロン 4 ごじょっこひろば 5 ごじょっこフレンズ 6 ごじょっこスマイル 7 地域子育てサロン 8 家庭教育学級	子育て広場・子育てサロン参加者数	合計 6,657人 広場 1,316人 サロン 5,341人	合計 8,000人 広場 1,600人 サロン 6,400人
(2)①相談体制の充実・相談窓口情報の発信 1 妊婦相談（母子健康手帳の交付） 2 乳幼児健康相談 3 こども発達相談 4 こども家庭センター事業 ②相談体制の充実・相談窓口情報の発信 1 人権相談 2 消費者ホットライン 3 太宰府市消費生活センター 4 こころの相談 5 すこやか相談 6 精神保健福祉相談 7 民生委員・児童委員への相談 8 一般相談 9 労働者向けの就業支援・相談先案内 ③相談体制の充実・相談窓口情報の発信 1 精神保健福祉相談 2 自死遺族の相談、自死遺族のための法律相談	妊婦相談実施率	100%	100%
(3)支援の充実 1 障がい者虐待対応業務 2 日常生活自立支援事業（ほのぼのサービス） 3 自立支援医療 4 障がい者基幹相談支援センター 5 障がい福祉サービス 6 障がい者福祉制度の案内 7 障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築	ファミリー・サポート・センター援助活動利用件数	262件	350件
(4)妊娠・出産・子育てに対する支援の充実 1 妊婦訪問 2 こんにちは赤ちゃん訪問 3 ファミリー・サポート・センター事業 4 助産施設入所措置 5 一時預かり保育			
(1)児童・生徒のSOSの出せる力を育てる教育 1 教育の実施			
(2)児童・生徒のSOSに気づく体制づくり 1 いじめに特化したアンケート 2 教育相談 3 こども家庭センター事業	教育実施回数	3回/年/1学校	3回/年/1学校
(3)SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化 1 小・中学校との連携 2 児童・生徒向けの相談先周知・啓発			

重点施策

施策項目

太宰府市の自殺の特徴を踏まえた取り組みです

1 「子ども・若者・女性」の自殺対策の推進

子どもに関するいじめや虐待、不登校等の問題に関する相談窓口の周知や、学生のこころの問題・性を含む様々な健康に関する悩みやニーズの把握を行い、対策を推進するため大学等との連携を検討してきます。

- (1)若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒・学生などへの支援
- (2)経済的困難を抱える子ども等への支援
- (3)社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす支援
- (4)困難な問題等を抱える女性への支援

2 生活困窮者の自殺対策の推進

生活困窮者への支援は、生活扶助等の金銭給付による支援だけでなく、本人の自立を促すための支援も必要です。

- (1)他分野機関とのネットワークに基づく相談支援
- (2)生活困窮を抱えた人に対する個別支援

3 高齢者の自殺対策の推進

高齢者の自殺を予防するためには孤立を防ぐことが重要であり、家庭や地域での見守りを行うとともに、社会参加を図ることが必要です。

- (1)包括的な支援のための連携の推進
- (2)地域における要介護者に対する支援
- (3)高齢者の健康不安に対する支援

主な取り組み事業

目標

		現状値	目標値
(1)若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒・学生などへの支援 1 いじめ問題に対する取組 2 不登校児童・生徒の復帰率（小学生・中学生） 3 スクールカウンセラー活用事業 4 スクールソーシャルワーカー活用事業 5 太宰府市いじめ問題等対策連絡協議会 6 教育相談 7 サポートルーム（つばさ学級） 8 子ども家庭センター事業 9 思春期精神保健相談 10 太宰府市子どもの居場所づくり・シングルマザー支援事業 (2)経済的困難を抱える子ども等への支援 1 太宰府市若年者専修学校等技能習得資金 2 就学援助事業 3 特別就学奨励費事業 (3)社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす支援 1 青少年対策事業 (4)困難な問題等を抱える女性への支援 1 女性相談 2 ちくし女性ホットライン	いじめを認知した学校数の割合	100%	100%
	不登校児童・生徒への支援事業数	令和5年度開始予定	7
	居場所開所日数（新規）	令和5年度より実施	169日
(1)多分野機関とのネットワークに基づく相談支援 1 生活困窮者自立支援制度 2 犯罪被害相談窓口 3 性暴力被害相談窓口 4 犯罪被害相談「心のリリーフ・ライン」 5 弁護士による無料法律相談 6 身体障がい者相談員、知的障がい者相談員による相談 (2)生活困窮を抱えた人に対する個別支援 1 生活保護事務	自立相談支援事業による就労者数	7人	15人
(1)包括的な支援のための連携の推進 1 地域での介護予防教室 2 包括的支援事業 3 生活支援体制整備事業 4 在宅医療・介護連携推進事業 5 認知症総合支援事業 (2)地域における要介護者に対する支援 1 認知症サポーター養成事業 (3)高齢者の健康不安に対する支援 1 地域包括支援センターによる総合相談事業 2 高齢者あんしんダイヤル（夜間・休日相談事業） 3 認知症地域支援推進員による認知症相談 4 認知症高齢者等事前登録事業	生きがいを感じている高齢者の割合	74.7%	80.0%
	何かあった時に相談する相手の割合	57.1%	70.0%
	あなたの現在の幸せ度	49.3%	50.0%

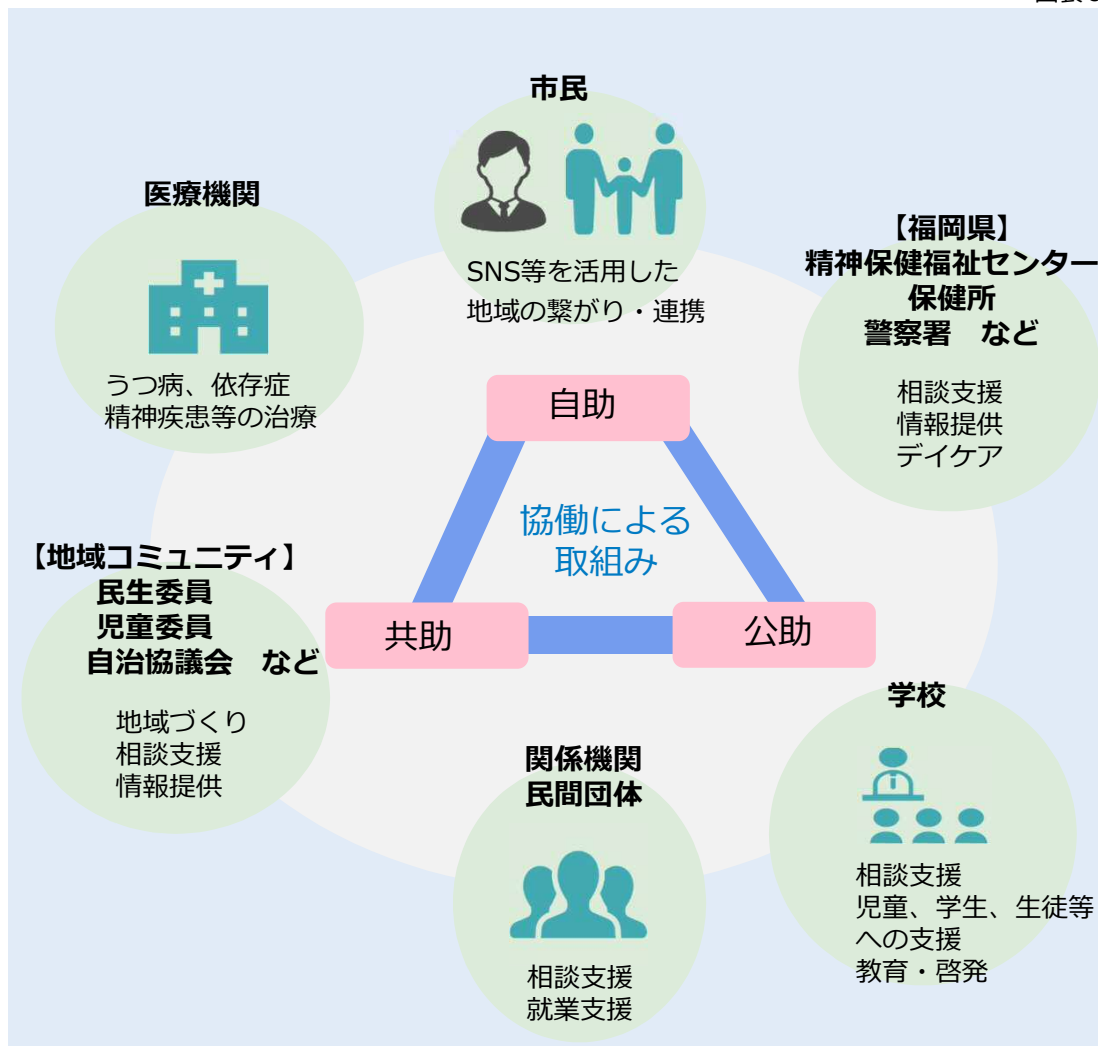
❖❖❖自殺対策の推進体制❖❖❖

1 太宰府市自殺対策ネットワークの推進・協働

より効果的に自殺対策の実現を目指すには、「個人や家庭」「地域のグループ、職場、関係団体」「行政」がそれぞれの役割を果たしながら連携し、推進することが重要となります。

それぞれが得意分野を活かして主体的に取り組み、不足を補完しあい、協働して健康づくり事業を進めます。

図表 8



2 太宰府市いきるをサポートする連絡会議

本市は、自殺対策に係る施策を推進するために、「太宰府市いきるをサポートする連絡会議」を設置し、関係機関や関連団体との連携を推進していきます。

この連絡会議は、行政トップが責任者として関わり、自殺対策に関連のある関連部局で構成しています。

庁内の横断的体制を整え、市自殺対策計画の進捗管理に関することを総合かつ効率的に推進します。

✧✧✧筑紫地区における「いのちを支える」社会資源一覧✧✧✧

医療	
機関名	
病院	福岡県立精神医療センター 太宰府病院
	筑紫野病院
	医療法人牧和会牧病院
	医療法人同仁会乙金病院
	医療法人十全会おおりん病院
	自衛隊福岡病院
診療所	スタジオリカクリニック
	このはなクリニック
	ゆくり心療医院
	いでわき医院
	いなば心療クリニック
	医療法人永和会永尾心療クリニック
	医療法人西江こころのクリニック
	馬場内科・乗本こころのクリニック
	医療法人ゆう心と体のクリニック
	にしこころの診療所
	さたけこども発達クリニック
	医療法人くすの木会 くすの木クリニック
	のぞみメンタルクリニック

社会参加、地域の助け合い、普及啓発	
機関名	
就労 相談	障害者就業・生活支援センターちくし
	ハローワーク福岡南
	筑紫野市ふるさとハローワーク
	若者サポートステーション (49歳まで)
	福岡障害者職業センター
	福岡県中高年就職支援センター
家族会	筑紫地域精神障害者家族会「五筑会」
	特定非営利活動法人 つくしクローバー会
	楠の会 (KHJ全国ひきこもり家族連合会)
	ギャンブル依存症の家族会 ギヤマノン大野城
	ギヤマノンちくし
自助 グループ	福岡県断酒協議会（アルコール）
	福岡県断酒連合会（アルコール）
	高宮AA（アルコール）
	福岡無限会（アルコール、薬物）
	GAちくし（ギャンブル、その他）

就労相談、家族会、自助グループの詳細は、
筑紫保健所へ問い合わせてください。

【問い合わせ先】
筑紫保健所精神保健係 092-513-5585

相談窓口	
機関名	
県の相談機関	筑紫保健福祉環境事務所健康増進課精神保健係
	福岡県精神保健福祉センター
市町村保健センター	太宰府市元気づくり課健康推進係
基幹相談支援センター	太宰府市福祉課 障がい福祉係
自立相談支援機関	太宰府市生活支援課生活支援係
地域包括支援センター	太宰府市地域包括支援センター
	太宰府市地域包括支援サブセンター
社会福祉協議会	太宰府市社会福祉協議会
発達障がい者（児）支援センター	福岡県発達障がい者（児）支援センター Life（ライフ）
ひきこもり支援	福岡県ひきこもり地域支援センター
	福岡県若者自立相談窓口（若まど）
無料法律相談	日本司法支援センター 法テラス福岡
相談電話	ふくおか自殺予防ホットライン
県の相談機関	筑紫保健福祉環境事務所健康増進課精神保健係
相談電話	ふくおか自殺予防ホットライン
	福岡いのちの電話
	心の健康相談電話
家族相談電話	心の相談電話 （心の病を持つ方、その家族対象）



※元気づくり課では、相談先一覧として「おももり」を配布しています。ご参考ください。

いきるサポートプラン
～第2期太宰府市自殺対策計画～

発行年月 令和6年3月

編集・発行 太宰府市健康福祉部 元気づくり課 健康推進係
〒818-0125

福岡県太宰府市五条三丁目1番1号（保健センター）

TEL : 092-928-2000